児童の学び改善のための初等算数教授法
Teaching Methods for Mathematics in Primary Education for Learning Improvement

更新

対象国の条件：	
研修コース番号：	201984253-J002
案件番号：	201984253
主分野課題：	教育/初等教育
副分野課題：	
使用言語：	仏語

案件概要

本コースでは、生徒中心アプローチを活用した問題解決型授業実践のための指導案作成および教材開発に焦点を当て、国、地方、学校レベルでの算数授業の質向上に向けた取り組みの理解を目指す。教育大学付属小学校での実習を通して、研究授業の流れを体得し、自国への適用方法を検討する。

目標／成果

【案件目標】
初等教育機関教員の児童の学習意欲を促す算数授業の構築スキルを向上させる。

【成果】
1. 日本の教育制度についての知識を得ることを通じ、教員研修制度と教員を取り巻く環境について理解を深め、自国で実施可能な研修形態について改善点を示すことができる。
2. 日本の初等教育の現場を視察し、学校のしくみと役割、および家庭や地域社会のつながりなどについて理解を深め、自国で適用できる活動プランの構想を練ることができる。
3. 日本の算数授業を参観し、算数の授業改善に向けた取組について理解を深め、児童主体の学びを促す授業構築の具現化を図ることができる。
4. 小学校での実習を通して、児童主体の学びを促す授業実践をめざすことができる。
5. 修得した知識やスキルを活用し、より良い授業実践のための活動を研修員の所属組織に伝えるアクションプランを作成する。

対象組織／人材

【対象組織】
教員研修機関、初等教育機関.教育行政機関

【対象人材】
〈職位〉

初等教育機関の主幹教諭、又は教員訓練機関の講師

〈職務経験〉

5年以上の初等教育機関における理数科指導経験

内　容

日本の教育制度・システム、学習指導要領の役割等、授業改善のための制度やシステムに関する講義。

教育大学における教員養成課程や現職教員の研修制度についての講義・視察。

校内の仕組み、教育委員会や教育大学等の他関係機関との連携、市教育センターとの関係

・連携に関する講義・視察

授業研究、教材研究、指導案の作成、研究授業の実施

インセプションレポート発表、アクションプラン作成/発表

本邦研修期間	2019/9/4～2019/10/4
担当課題部	人間開発部
所管国内機関	JICA北海道（札幌）
関係省庁	
実施年度	2019～2021

主要協力機関	調整中
特記事項及びホームページ	